

常任委員会 報告

■第4回総務文教常任委員会

(6月2日)

調査事項

(1) 幌延町まちづくり事業

補助

○事業実施者〓有限会社北斗観光物産

○事業名〓パン・菓子工房開設事業

○事業の目的及び概要〓トナカイ観光牧場で事業を展開することにより、町内外からの集客の向上と収益並びに雇用の増加を図る

○総事業費〓1千3百31万円

○補助金額〓5百90万円 (販売用什器・製造機材)

問 会社が倒産または事業から撤退した場合の補助金に対する規定はあるのか。

答 補助金の規制を強めるべきだという意見もあれば、町の振興・活性化を図るには規制すべきではないという意見もある。そのバランスを取りながら対策等を勉

強していく。

(2) 選挙体制の見直し

現行7区ある投票区・投票所を3つの投票区・投票所に改編する。第1投票区は上問寒・中間寒・問寒別・雄興で、投票所は問寒別公民館。第2投票区は、開進・上幌延・字幌延・北進・幌延市街で、投票所は総合体育館。第3投票区は下沼で、投票所は下沼寿の家。改編後は問寒別地区においても期日前投票を実施する。場所は問寒別公民館で、期間

は投票日前の3日間とする。

問 下沼地区の統合は考えられなかったか。

答 有権者数1百人以下の地区を統合したいと相談してきた。下沼地区は1百40人位なので統合の対象になっていない。

(3) 幌延町総合体育館の耐震改修事業

問 総合体育館は災害時の避難収容施設としての位置付けがあることから、昨年度に耐震診断調査を実施し、補強が必要とされた。改修内容は1階4ヶ所、2階12ヶ所と屋根の補強。着工は23年の春からを予定し、

事業予算6千2百91万6千円の内1/2は国土交通省の交付金で行う。

問 工事によって休館日数はどの位になるのか。また、代替施設はどこになるのか。

答 4、5ヶ月を想定している。小・中学校の体育館をと考えているが授業や学校行事等を加味しながら検討していく。

問 安全率はどうなるのか。

答 耐震指標というのが最大で10倍になる。0.7以上で倒壊の危険性が低いとされており、改修後は最低の位置でも0.89あり、それ以外では1以上の数値になる。

■第5回総務文教常任委員会

(6月17日)

調査事項

(1) 幌延町生涯学習センターの建設工事

問 国際交流施設と学習センターの間のポーチ部分に、シンボルとなるモニュメントを建設したい。予算額は5百万円以内としたい。制作者は、北海道出身で若手の伊藤隆弘氏を予定している。

■第3回産業厚生常任委員会

(6月2日)

調査事項

(1) 次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)

問 認定子ども園の助成状況はどうなっているか。

答 私立等の法人には国の補助制度があるが公立には補助制度がない。

問 幌延町の保育料については国の基準の85%程度の保護者負担を頂いている。

(2) 北星園の民営化

問 民営化のスケジュールが大幅に遅れているが、審議会の提言を十分に尊重し、指定管理者制度に基づき、平成23年4月1日に実施したい。

問 適用給料表の受け入れ側と職員側との意向の条件の違いと現状をどう考えているか。

答 職種が同じで、給料表の適用が違うということはありえないので、受け入れ側の法人と折衝しながら決断すべき時期が来ると感じている。

問 今後の運営に支障の無い体制を作ってもらいたい。

答 よく考えながら判断して行きたい。

(3) 幌延町トナカイ観光牧場

問 パン工房のテナント料を取るべきではないか。

答 トナカイ牧場の集客を図るため民間によりパン工房を設置したが、レストランが赤字のためテナント料は取っていないので、同じ扱いとしてテナント料は取っていない。

問 口蹄疫の対策は。

答 出口に消毒用マットを設置。

■第4回産業厚生常任委員会

(6月17日)

調査事項

(1) 北星園の民営化

問 給与の差額をどのようにするのか。

答 給与の経過措置を図る。民営化直前の給与を1年、3年目は100%、4年、6年目は95%、7年、10年目は90%補償する。